

# りそな外為レポート

## りそな WEEKLY COLUMN

### りそな外為レポート

#### ～コロナと金融相場の持続～ (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室  
カスタマーディーラー 中里 信介

今週のドル円予想レンジ **103.50 ~ 105.20**

### りそなWEEKLY COLUMN

#### 未来のディーリングルーム (P3)

りそなホールディングス 市場企画部  
倉並 隆裕

- 在宅勤務のネックとなる所狭しと並ぶディーリングルームのスクリーン
- VR（仮想現実）AR（拡張現実）MR（複合現実）で未来のディーリングルーム
- 筆者は未来のVRオフィスに向けて深夜の特訓中

2020/11/24

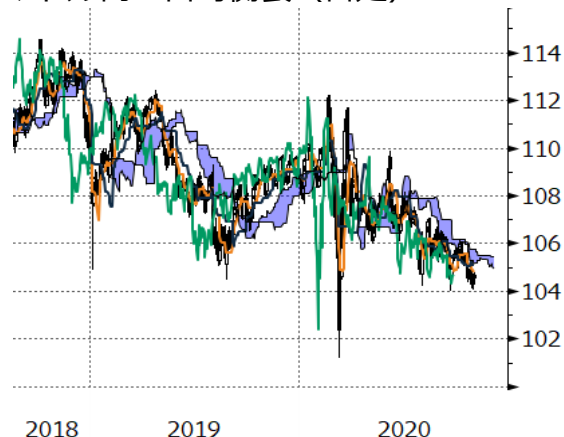
# りそな外為レポート

## ～コロナと金融相場の持続～

今週のドル円予想レンジ **103.50 ~ 105.20**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

### ◆ドル円一目均衡表 (日足)



### ◆為替相場のすすめ

先週は、ワクチン開発の良好な治験結果を受けてリスクオン相場となり株は堅調に推移。一方で、パウエルFRB議長やラガルドECB総裁はワクチンによる早期の経済再拡大は見込んでいないことを発言し、金融緩和姿勢の継続が意識され金利低下と米ドル売りが進行した。欧州では一部地域でロックダウンが再開されバーなどが営業停止になっているほか、アメリカではNY州の学校が休校になるなど、コロナウィルスの感染再拡大に伴う措置が取られている。かかる中、日本ではGotoトラベルの一部停止問題が沸き起こり、今後の方針に注目が集まっている。

マーケットも“コロナウィルス感染再拡大による経済停滞”vs“ワクチン開発期待”が綱引きしており、大統領選に伴う値動きが一服するなか次なるトレンドを見極める展開。一方で、ワクチン開発の進展有無に関わらず中銀の緩和的姿勢は崩れ難く、金融相場が継続する展開が見込まれ、米ドルの上値が重い展開が継続されるだろう。

出口の見えないコロナウィルスは終わりのない金融緩和と歩みを揃えているのかもしれない。(カスタマーディーラー 中里信介)

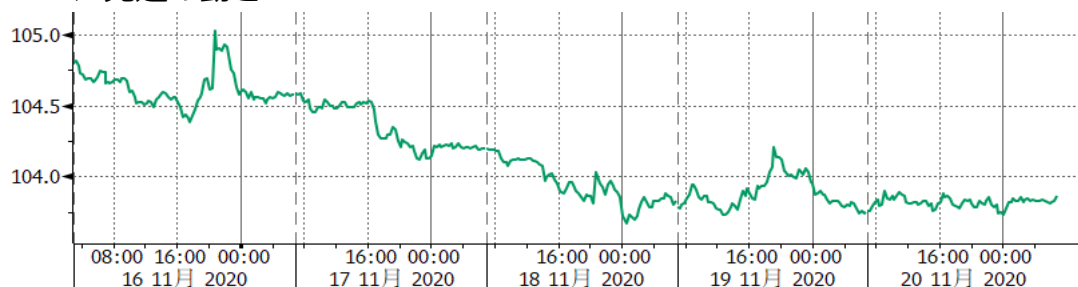
### ◆ 今週の日程

24日(火) 米 11月消費者信頼感指数	25日(水) 米 10月新築住宅販売
24日(火) 米 7年国債入札	25日(水) 米 FOMC議事録 (11/4, 5)
25日(水) 米 20/3Q GDP改定値	26日(木) 米 Thanksgiving Day
25日(水) 米 10月耐久財受注	26日(木) 独 10月IFO景況感指数
25日(水) 米 10月個人所得・消費支出	27日(金) 米 ブラックフライデー

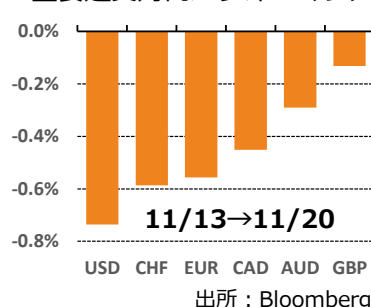
### ◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 11月20日(金) 103.86円 VS 11月27日(金)

東京							大阪			埼玉							
井口	中根	石川	湊	小新	鳥井	田中	中里	伊藤	村永	小林	鈴木	武富	上野	小林	津田	石井	佐藤
↑	↑	↓	↓	↓	↑	休	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↓	↓

### ◆ 先週の動き



### 主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2020/11/24

# りそな WEEKLY COLUMN

## 未来のディーリングルーム

- 在宅勤務のネックとなる所狭しと並ぶディーリングルームのスクリーン
- VR（仮想現実）AR（拡張現実）MR（複合現実）で未来のディーリングルーム
- 筆者は未来のVRオフィスに向けて深夜の特訓中

りそなホールディングス 市場企画部  
倉並 隆裕

### 所狭しと並ぶディーリングルームのスクリーン

コロナ禍等の影響により最近では当社でも在宅勤務が定着してきましたが、こちらディーリングルームでは思うようには利用が進んでいません。もちろんお客様情報の保護等、他業界よりも高いセキュリティが求められる事情があるのですが、もう一つ、ディーリング業務に用いられる機材の数がネックになっています。ディーラーのデスクには約10枚ものモニターが所狭しと並んでおり、これらの機材はそう簡単に自宅に設置出来ません。



そのため業務をそのまま自宅で行うのは難しいのですが、これを打破する手段の一つとして、筆者は最近VR（仮想現実）に着目しています。似たような言葉が多いので簡単に説明します。

VR : Virtual Reality (仮想現実)  
AR : Augmented Reality (拡張現実)  
MR : Mixed Reality (複合現実)

VRはあたかも現実ではない空間（仮想空間）にいるかの様な体験が出来る技術、ARは現実空間に仮想空間を重ね合わせる技術（現実空間+仮想空間）、MRは現実空間と仮想空間を融合させ、仮想のものに触ったり動かしたりできる技術（仮想空間×現実空間）とされています。これらを使ってモニターを自宅で再現することができないでしょうか？

VR、AR、MRって何？

2020/11/24

# りそな WEEKLY COLUMN

## 未来のディーリング ルームへようこそ

ARについてはスマホゲーム「ポケモンGO」のヒット等により若い世代には認知度を得ていますが、ディーリングルームの再現となるとスマホでは難しいでしょう。HMD（Head Mounted Display：頭部装着ディスプレイ）が必要です。ただ単にHMDを装着しただけではHMDの解像度以上の情報を表示する事は出来ませんが、ARの技術により現実空間上に仮想のモニターを複数配置すれば、首を動かすだけで全てのモニターを見渡すことが出来ます。場合によっては床から天井まですべてモニターにする事が出来るでしょう（これでは現実空間がないのでARではなくVRになりますが…）。これに加えてMRの技術により仮想のキーボードやマウスを操作することにより、自宅でもディーリングルームを再現する事が可能かもしれません。



出所:Infinite Office



出所:Immersed

## 筆者は未来のVRオフィス に向けて特訓中

このアイデアはVRオフィスツールとして既にいくつか商用化されており(Immersed、Spatial等)そう新しいものではないのですが、最近Facebookから「Oculus Quest 2」という比較的安価で高性能なデバイスが発売されたため、筆者も購入してみました。加えてこの冬には「Infinite Office」というバーチャルオフィスの新サービス開始も控えているとの事で期待しています。ですので今のうちにVRに慣れておこうと、深夜の特訓（主にゲーム）を続けています。

